

# フィールドサービスエンジニアの ウイルス感染予防対策ガイドライン

ver. 1

出展元：一般社団法人 日本半導体製造装置協会  
半導体/FPD製造・検査装置業界の製造事業所におけるウイルス感染予防対策ガイドライン

2023年11月2日  
一般社団法人 日本半導体製造装置協会  
安全・サポート部会 サービス専門委員会



Semiconductor Equipment Association of Japan

1

## 目次

はじめに	P3
感染防止のための基本的な考え方	P4
推奨する行動	
1. 出張準備	P5
2. 出張先	P7
3. 宿泊先	P9
4. 海外出張	P10
改訂履歴	P13



Semiconductor Equipment Association of Japan

2

## はじめに

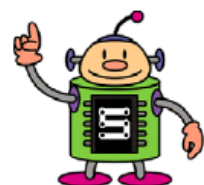
本ガイドラインは、一般社団法人日本半導体製造装置協会発行の「[半導体/FPD製造・検査装置業界の製造事業所におけるウイルス感染予防対策ガイドライン](#)」のうち、特に顧客を訪問するフィールドサービスエンジニアに推奨する行動をまとめたものです。また、「[フィールドサービスエンジニアのウイルス感染予防チェックリスト](#)」と合わせて使用することで、感染予防の徹底と注意喚起にお役立ていただければ幸いです。

尚、これら推奨事項はあくまで参考であり、感染の防止を保証するものではありません。本ガイドラインの内容は、関係省庁や専門家の知見を得て作成したものであり、今後も、感染症の動向や専門家の知見、対処方針の改定等を踏まえ、適宜、必要な見直しを行うものとしします。

## 感染防止に関する基本的な考え方

フィールドサービスエンジニアは、自身の感染防止対策への取り組みが、家族、職場あるいは顧客への感染症拡大防止に繋がることを深く認識した上で活動する。

また、事業者は対策に係る体制を整備し、個々の職場の特性に応じた感染リスクの評価を行い、それに応じた対策を講じ、特に従業員への感染拡大を防止するよう、通勤形態などへの配慮、個々人の感染予防策の徹底、職場環境の対策の充実などに努めるものとする。



# 推奨する行動

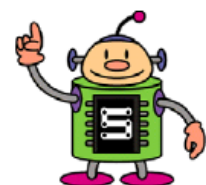
## 1.出張準備

- 出張予定日前から自身の体調確認に加え、家族、同居者の体調確認もおこなう。(1)
- 感染拡大期には、さまざまな出張制限が設けられるため、出張計画に際しては、会社や顧客に事前に許可を得ておく。(2)(3)
- 顧客によっては現地ホテル待機や必要書類など、個別にルールを定めていることがあるので注意する。(4)
- 感染拡大防止の観点から、現地での活動のスケジュール・連絡先情報は、会社や顧客と共有しておく。(5)

本文中の(\*)表記は、感染予防チェックリストの該当項目を表す。

# 推奨する行動

- 顧客によって、公共交通機関の使用制限（サービスカー以外の移動は不可、飛行機の移動は不可など）があるため、事前に確認すること。(6)
- 体調不良時の顧客および会社への連絡先、対応方法は事前に確認する。万一、現地で体調不良となった際は、ルールに従い対応する。(7) 決して無理をせず、直ちに帰宅し、ホテル待機とする。



# 推奨する行動

## 2.出張先

- 事前に顧客先のルールを確認し、喫煙/休憩/食堂/打合は、指定された場所を使用する。(8)
- 共有スペースへの入退室前後のこまめな手洗いを徹底する。また、会話をしている際は、立ち位置、座り位置に注意し、相手の真正面に位置する事を避ける。(9)
- 防塵服やマスクの汚染防止には注意を払う。(10)
- 防塵服の着用は、顧客のルールに従い正しく着用する。ルールが無い場合には、以下に注意して着用及び脱衣する。
  - ①防塵服の着用時、インナー手袋を初めに装着しアウター手袋は最後に装着する。
  - ②防塵服の脱衣時、アウター手袋を初めに脱着しインナー手袋は最後に脱着する。

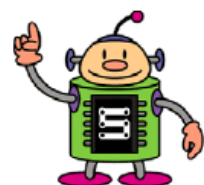
# 推奨する行動

- エアシャワーを浴びる際は、客先のルールを順守する。防塵服は指定された場所に正しく保管する。
- 喫煙場所・休憩・食堂の混雑時の利用は避け、人との距離をとり、会話は控える。(11)
- 体調不良時は、上司・顧客へ連絡した上で、出社ルールに従った対応をとる。(12)
- 共有する工具やドアノブ、電気のスイッチ、手すり・つり革、エレベーターのボタン、ごみ箱、電話、テーブル・椅子などの共有設備については、頻繁に清浄・消毒を行い、使用後の手洗いを徹底する。(13)

関連サイト 厚生労働省HP

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_14992.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14992.html) (報道・広報)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_newlifestyle.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html) (政策について)



# 推奨する行動

## 3. 宿泊先

- 顧客によっては宿泊施設に指定があるので事前に確認する。(14)
- 宿泊施設は、感染対策が適切にされているところを選び、チェックイン時は体温測定、アルコール消毒、マスク着用しエレベータ等の共用設備に触れた場合、都度手洗いを励行する。(15)
- 顧客および自社の飲食ルールを事前に確認する。(16)
- 食事の場所の感染対策を確認、人数制限ルールがある場合は遵守し、人との間隔をあけ、大声での会話は控える。(17)

# 推奨する行動

## 4. 海外出張

- 海外出張を検討する場合は、渡航先の感染状況を事前に確認する。感染状況は日々変化するので、現地の代理店やパートナーから最新情報入手する。また、外務省の“たびレジ”に登録すると最新現地情報が得られることがある。(18)(19)(20)
- 感染拡大期においては、多くの国や地方自治体、顧客が個別に制限を設けるケースがある。出張計画立案に際しては、個別制限の有無を確認し、渡航先自治体、顧客の訪問許可を事前に得て、自社の関係部署の出張許可を得ておく。(21)
- 感染状況によっては、通常と異なるVISA申請手続きが求められる場合もあるので、当該国大使館等で事前に確認をする。また、取得に要する時間も長くなるので注意する。(22)

関連サイト 外務省 たびレジ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

SEAJ会員限定 中国渡航移動情報交換サイト [安全・サポート部会 | 一般社団法人 日本半導体製造装置協会 \(seaj.or.jp\)](#)

## 推奨する行動

- 出張目的地によって、入国手続きや必要書類が異なったり、移動手段に指定があるので事前に確認をする。(23)(24)
- 特定国間で双方向の往来に関する措置内容を確認する。日本政府の水際措置も感染状況により変わりますので、必ず、確認するようにする。(25)
- 隔離待機が定められている地域では、待機するホテルや宿泊場所が指定され、事前の予約先に宿泊できないケースがあるので注意する。宿泊先が変更になった場合は、速やかに関連部署に報告し、連絡方法や手段を決めておく。経由地によっても隔離待機期間が追加される場合もあるので事前に確認する。(26)
- 隔離ホテルでは清掃やインターネットサービスが無く、ローカルフードのみが支給されるケースが散見される。WiFiモジュール、常備薬、和食、調味料、飲料、衛生具等は十分に用意しておく。(27)

## 推奨する行動

- 万一、現地で体調不良になった場合に備え、緊急連絡先を事前に確認しておく。旅行保険やクレジットカードのサービスには24時間日本語サポートを提供している事がある。医療サポートサービス会社と契約しておけば現地病院の手配、支払代行等を日本語で対応してもらえる事が可能なので推奨する。(28)
- 食事は感染対策された衛生的な場所を選択し、国内同様に三密を避け、大声での会話や飲酒は控え目にする。(29)

## 改訂履歴

- 初版 2023年11月公開